



道徳だより



本校では今年度「希望と勇気、努力と強い意志」を中心に道徳教育を推進していきます。学校の教育活動の全てを通して行われるのが道徳教育です。毎週1時間行われる「道徳の時間」では子どもたちが日々の生活の中で体験したことを自分とのかかわりの中で深めていきます。この道徳だよりでは、道徳の時間などの子どもたちの様子をお伝えしていきます。

ご家庭でも保護者の方々と子どもたちが一緒に考えたり話し合ったりして、子どもたちの豊かな心の成長に役立てていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

道徳の時間の様子 1年生「あいさつのあるいちにち」たいせつなあいさつ

あいさつをすると、相手も自分も気持ちがいいことに気づき、気持ちのよいあいさつをしようとする心情を育てることをねらいとして学習しました。

教科書に出ている6つの場面であいさつをすることで、言われた人・言った人はそれぞれどんな気持ちになるかを考えました。実際に動作化を行い、あいさつをする時と、あいさつをしない時とを比較しました。あいさつがあると、「言われた人も言った人もうれしい」「心があつたかくなる」などの考えがでました。また逆にないと、「かなしい」「いやな気持ちになる」などの考えが出ました。

学校生活にも慣れ、朝登校してくる際も自分からあいさつをしてくれる子が増えてきました。今後、自分からいろんな場面であいさつができるといいですね。



子どもたちの発言より

- ・あいさつをしてもらおうと、心がぼかぼかすると思いました。してもらえなかったら、ちくちくすると思いました。
- ・あいさつをすると、言った人も言われた人も、にこにこ笑顔になるとと思いました。
- ・あいさつをしてもらえなかったらもやもやします。朝あいさつをしてもらえたら、今日もがんばろうという気持ちになります。
- ・これから色々な人に自分からしたいです。
- ・相手に聞こえる声で元気にあいさつしたいです。
- ・自分もいい気持ちになるから、これから色々な人にあいさつをがんばりたいです。